授　業　概　要

（こども保育科）

授業のタイトル（科目名）	授業の種類	授業担当者	当該科目に関する実務経験
臨床心理学	（ 講義 ・演習・実習 ）	板垣　寛	臨床心理士 児童相談所相談員 児童発達支援センター相談員

授業の回数	時間数（単位数）	配当学年・時期	必修・選択
15 回	30 時間（2 単位）	2 年・後期	必修

［授業の目的・ねらい］
心の時代と形容される現代社会において、モノの豊かさを求める時代から、内面的豊かさや個人のより良い生き方を求める時代へと移り替わってきている。臨床心理学という学問を通じて真の心の健康とはどのような状態を指すのか学び、実践できる保育士を目指す。

［授業全体の内容の概要］
心の病理と代表的な心理療法を学びながらそれぞれの事例に触れることで実践的な技法の獲得と、臨床心理学的な視点を身に付ける

［授業終了時の達成課題（到達目標）］
(1)臨床心理学における代表的な「心理アセスメント」や「心理療法」について具体例を挙げながら説明できる。
(2)「精神力動的アプローチ」についての理論的背景と、人間観を説明できる。
(3)「認知行動的アプローチ」について、人が新たに行動を獲得し、認知を変容していくためのメカニズムについて説明でき、必要な学習プログラムを作成できる。
(4)「人間性心理学的アプローチ」について、対人援助職としての基本的態度と自己実現について説明でき、対話の中で実践できる。

［授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法］

1. 臨床心理学とは何か	歴史と発展経緯
2. 臨床心理学の活動と役割	研究、アセスメント、心理療法、地域援助
3. 心理的問題の理解と方法	心理アセスメントと診断カテゴリー
4. 精神力動的アプローチ①	精神分析理論とパーソナリティ理論
5. 精神力動的アプローチ②	精神分析における基本的介入技法と面接事例
6. 認知行動的アプローチ①	行動主義心理学と学習理論
7. 認知行動的アプローチ②	認知行動的アプローチの基本モデルと介入事例
8. 人間性心理学的アプローチ①	人間性心理学理論と人間観
9. 人間性心理学的アプローチ②	パーソンセンタードアプローチ（PCA）と基本的態度
10.人間性心理学的アプローチ③	PCA の面接事例とその他のアプローチ（実存主義）
11.統合的アプローチ	同一事例に対しての３つのアプローチの比較検討
12.遊戯療法①	保育実践場面における遊びの治療的役割
13.遊戯療法②	箱庭療法とスクイグル法
14.保育と臨床心理学	保育士に求められる臨床心理学的視点
15.期末試験	

［使用テキスト・参考文献］
・よくわかる臨床心理学　　ミネルヴァ書房

［成績評価の方法と基準］
教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。
・考査点(75%)
　・到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考査を実施する。
・平常点(25%)
　・事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。
　・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。